

谷合拓哉君 清水俊弥君 小泉匡士君（生産技術科2年生）が、精密工学会九州支部第19回学生研究発表会において、「職業能力開発大学校での技能教育」というテーマで発表する。

九州職業能力開発大学校生産技術科の学生が、精密工学会九州支部第19回学生研究発表会で、自身の技能習得について九州大学、九州工業大学等の名だたる九州の大学に混じり堂々と発表しました。九州職業能力開発大学校で実施している技能教育を世に知らしめる良い機会になりました。また、発表した3名については、「ポリテックビジョンものづくりコンクール」に参加予定の1年生の実技指導も実施しており、技能習得だけに終わらずその先についても確り勉強しています。（文責 八崎）

講演会名：精密工学会九州支部第19回学生研究発表会
 講演内容：「職業能力開発大学校での技能教育」ポスターセッション
 開催日時：2018年12月1日（土曜日）9：30～
 開催場所：九州工業大学（戸畑キャンパス）
 参加者：生産技術科2年生 谷合 拓哉 清水 俊弥 小泉 匡士
 担当職員：黒木 猛 寺本 祐子 八崎 透

24-O	エバネット光を用いたコロイダルシリカナノ粒子付着挙動の実時間観察	森田倫太郎(九州工大)
25-O	界面における燃料ミストの燃焼現象観測法の検討	杉替貴広(九州工大)
26-O	異なるブローイングシステムを用いた三次元形状測定法の提案 - 非接触ライネンザブローによる表面形状測定の変異原因調査 -	加治木奨紀(九州大)
27-O	フェムト秒レーザー光励起加工における基板表面反射率の時間空間分解計測	西田 涼(九州大)
28-O	高速・高精度CNC三次元測定機の開発 - 歯車の歯すじスキヤニング多断面測定 -	宮本祐有(九州大)
29-O	歯車の加工性状と運転性能に関する研究 - エンドミル加工された歯車の歯形状の計測および評価 -	都築宗一郎(九州大)
30-O	超音波加振式ミニチュアねじ締結法に関する基礎研究 - 摩擦面粗さと伝達トルクの変化に対する押付け圧力の効果 -	宮越哲哉(九州工大)
31-O	プレス金型の稼働による発生した高圧エアの圧力の実験評価	フク ジュンセイ(西日本工大)
32-O	バイオマス燃料を利用したハウス用加湿器の開発および動作検証実験	幸松昌央(西日本工大)
33-O	樹脂流動制御法によるホイール形状射出成型品の静的性能向上の評価 - 中心軸部による破壊強度の比較 -	佐藤 惇(九州工大)
34-O	職業能力開発大学校での技能教育	谷合 拓哉(九州能開大)
35-O	キャリア教育を目的とした持続可能な発展のためのものづくり教育の試行	上田まゆみ(熊本大)
36-O	金属光造形シミュレーションにおける溶け込み深さの評価	百田和矢(九州工大)
37-O	自動車用ダイカスト金型におけるシミュレーションを用いた鋳抜き寿命向上の検討	西田拓人(九州工大)
38-O	刃先の欠陥検査システムの小型化に関する研究	宮崎希希(長崎大)
39-O	フリップ・ベロー方式微細形状測定用光ファイバプローブの開発	井本裕貴(北九州大)
40-O	測定対象面への付着防止を目的とした微細形状測定用光ファイバプローブの開発	佐田雄大(北九州大)



学生発表会に参加した3名の学生

谷合君の発表グループ

職業能力開発大学校での技能教育

九州職業能力開発大学校 生産技術科 2年生
 ○谷合拓哉 清水俊弥 小泉匡士

概要
 産学官連携で実施する九州職業能力開発大学校（九州能開大）では、「専門課程」の設計・生産で現場技術に特化した技能教育を実施している。「専門課程」は、実務経験豊富な実務者から実務経験豊富な技術者まで経験豊富な実務者による指導で実施される。「専門課程」は、専門課程の修了者、または実務者の経験と知識を習得する者と共に、高度な現場技術や企業現場など全産業で活躍する卒業生を育成する。特に「専門課程」では、産学官連携で実施する。修業年限は、3年または4年を要する。九州能開大は、産学官連携で実施する。修業年限は、3年または4年を要する。九州能開大は、産学官連携で実施する。修業年限は、3年または4年を要する。

基本実習課題1

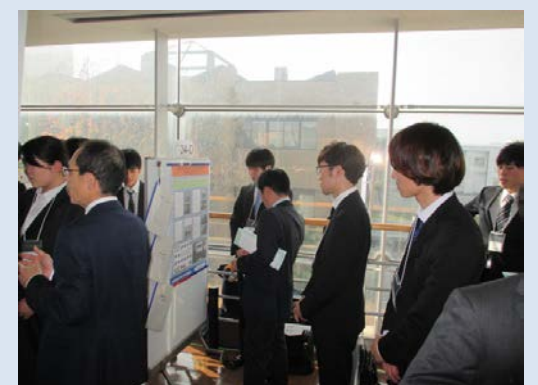
基本実習課題2

国際設計競技大会課題

若年者のデザイン競技会 銅メダル受賞

国際設計競技大会課題の工程分析

発表内容



プレゼンテーションの状況



2年生による1年生の指導